



カレンダー（暦）はだれがどうやって決めたの

グレゴリオ13世が制定したグレゴリオ暦

現在、日本で使われているカレンダー（暦）は、日本政府が決定し、毎年2月1日に、国が発表する官報というものに、来年のカレンダーが発表されます。

このカレンダーを作成するときに、もとにしているのが、グレゴリオ暦という暦です。このグレゴリオ暦は、今から400年も前に、ローマ教皇のグレゴリオ13世が制定したものです。グレゴリオ暦は、太陽の動きを観察して作られたもので、太陽暦といわれるものです。

400年も前の暦が、現在も使われているのは、その暦が、かなり正確なものであったからなのです。

日本でのグレゴリオ暦のスタート

カレンダー（暦）というのは、星や太陽の動きを観察して作られたものです。日本では、それまで月の動きをもとにして作った、太陰暦を使っていましたが、明治5（1872年）12月2日の翌日を、明治6年1月1日として、太陽暦を実施しました。これが日本でのグレゴリオ暦のスタートです。（監修・田代 脩）

